

究極ムダ使い予算臨時議会に提案される。

7月17日、第2回大垣市議会臨時会が開催されます。議案は、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金など国庫補助金を主な財源とした11億7000万円の補正予算案です。今回はその主な内容についてお知らせします。
 大垣市議会議員 笹田トヨ子

一般会計の補正予算

| | | | |
|----|------------|--------------------|---|
| 歳入 | 国庫補助金 | 9億2530万円 | 地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業：6億2360万円 その他の第1次補正予算関連事業：3億170万円 |
| | 県補助金 | 5300万円 | 緊急雇用創出事業 |
| | 市繰越金 市債 | 1億2690万円 6000万円 | 市職員等の人件費カットにより捻出された財源 |
| 歳出 | 総務費 | 3308万円 | 避難場所看板設置、交通安全施設整備 |
| | 民生費 | 1億612万円 | ふれあいセンター太陽光発電・公立保育園空調設備等 |
| | 衛生費 | 2500万円 | 女性特有がん検診推進事業 |
| | 農林水産業費 | 3000万円 | 林道時山多賀線法面等復旧事業 |
| | 商工費 | 7239万円 | 大垣駅前通りアーケード補修、プレミアム付商品券発行 |
| | 土木費 | 2億5340万円 | 排水機場改修、江西川河川改修、緑の村公園整備 |
| | 消防費 | 2410万円 | 耐震性貯水槽(墨俣)小型動力ポンプ6台(上石津) |
| | 教育費 | 6億2111万円 | 電子黒板、コンピュータ整備、地上デジタル放送など、 |
| 合計 | 11億6520万 | | |

大垣市単独事業

小学校・中学校扇風機設置4550万円
 公園遊具安全対策事業2300万円
 道路植栽補植事業1700万円

プレミアム付商品券発行1730万円
 交通安全施設整備 1000万円
 歩道バリアフリー整備事業 800万円
 高効率給湯器設置事業 610万円

県補助事業：緊急雇用創出事業5300万円で40人雇用(臨時職員18人、委託22人)

教育費：コンピュータ関連に突出した予算

今回の補正予算の特徴は、教育費6億2111万円と突出し、その大部分は、スクール・ニューディール構想に基づく情報通信技術環境整備費として、電子黒板・コンピュータ・地上デジタル放送対応のテレビ設置の費用です。これらすべて国の補助金で行われます。

電子黒板：小中学校82台設置・・・・・・・・・・・・・・・・ 4760万円

各学校に1台ずつ配置。1台あたり150万円ほどと、県の雇用創出事業の臨時職員なみの金額です。どれだけ活用されるか疑問。

教師用コンピュータ：小中学校540台・・・・・・・・・・・・ 1億40万円
 学校図書館用コンピュータ更新：26台・・・・・・・・・・・・ 3020万円
 地上デジタル放送対応設備：小中学校テレビ977台・・ 2億2620万円

1台あたり約23万円の高価な買い物

教育用コンピュータ更新：中学校336台・・・・・・・・・・・・ 8230万円

国民から離れた究極の悪政をストップ!

今回の補正予算の主なものは地域活性化・経済危機対策臨時交付金など国からの補助金が9億2530万円出ています。その大半がコンピュータ等の導入や地デジ対応のテレビの購入に充てられるというものです。一方、県の補助事業で40人の雇用がなされますが、ハローワークに押し寄せている2000人~3000人の人々の救済にはなりません。ハローワークの相談村では「あと1ヶ月で失業給付が切れてしまうが仕事が見つからない」、「職業訓練には希望者が殺到して、利用できない」、「住宅ローンの返済ができず困っている」、「住民税や国保料を滞納していて医者にもかかれない」など、深刻な相談が寄せられています。これに答える予算とはとても思えません。それどころか、今回の国の借金は消費税の大増税で賄うというものです。日本共産党の前進で国民本位の政治を実現させましょう。
 笹田 トヨ子